



ひがしの子

令和7年1月31日
岐阜市立岐阜東幼稚園
園長 広瀬 みゆき

たいよう組さん 鬼見学・ドッジボール大会

1月16日に、たいよう組は鬼見学と加納幼稚園とのドッジボール大会に出かけてきました。

<鬼見学>

加納幼稚園に荷物を置いた後、加納の町に立っている鬼を見に行きました。近くで見ると、本当に大きく見えます。たいよう組の子どもたちも、思わず「大きい!」「怖い。」とつぶやいていました。「これって動くの?」「どこに片づけるの?」等、感想も様々。玉性院の鬼は、表情がちょっと違います。「優しい顔してる。」「優しい鬼もいるのかな・・・。」と言っていました。細かいところにもいろいろ気づきますね。鬼を見た後の加納幼稚園への帰り道、清水川の横を通りました。清水川には、魚がたくさんいます。水の生き物が大好きで、興味のあるたいよう組さんが楽しめるような道を選びました。



予想通り、たくさん見える魚に興味津々。「いっぱいおる!」「跳ねた!」「光った!」などと鬼をみたことを忘れてしまうくらいの興奮でした。Aくんは、「この辺の人、毎日、たくさん魚が捕れるからいいなあ。」と言っていました。

加納の町には、鬼が3体立っています。車からも見えます。まだ、見られたことがない方は、見てください。結構、迫力ありますよ。(以前は目も光っていたのですが、今年から光らなくなったようです。)

<ドッジボール大会>

毎年恒例の、2園で行うドッジボール大会です。今年のたいよう組さんは、昨年度、年中児の頃から、ドッジボールに取り組んできたようです。体を動かすことが大好きな子も多く、ドッジボールが得意な子もいます。年長になり、ますますドッジボールへの思いも高まってきていました。

加納幼稚園とオンラインで交流してから、ますます“勝ちたい”気持ちが強くなり、ドッジボールに取り組んできたたいよう組さん。Bくんは「ボールを取ったり、投げたりはあんまり得意じゃないんだよね・・・。でも、逃げるのは得意やけど。」と話してくれました。「私と一緒にやね。」とドッジボールをしながら話していました。そんなBくんをはじめ、どの子もみんな、日を追うごとにボールを受けたり、投げたりがどんどん上手になっていきます。

子ども同士の声のかけ方もとても素敵です。失敗してしまったと思った子が「ごめん。」とチームの仲間には、「大丈夫!」「ドンマイ!」と声をかけます。うまくいかないときも、負けても誰も責めたりしません。「もう1回やろう!」と再び始めます。ボールが当たって、泣けることもあります。「大丈夫?」と声をかけたり、励ましたり。技術だけでなく、心も確実に強く、大きくなっていました。

さて、当日です。なんと、4名が体調不良で欠席ということに・・・。あんなに楽しみにしていたのに・・・。なんとということでしょう・・・。Cくん、Dくんから、メッセージが届きました。そのメッセージをタブレットで聞き、心を一つにしました。そして、もう一つ、大きな力になるものがありました。

それは、こあら組さん、なつめ組さんからの、心のこもった横断幕です。それを紹介すると、またまたそれが力になりました。

たいよう組の心は1つに!やる気満々です!

結果は・・・なんと、加納幼稚園のさくら組、いちよう組、岐阜東幼稚園たいよう組、3クラスとも、1勝1敗で、3チーム優勝ということになりました。それほど、3チームとも最後まであきらめず、仲間と力を合わせて一生懸命に取り組んでいました。



どの試合も、本当に見ごたえのある、素晴らしい試合ばかりでした。3チーム優勝ということで、準備したメダルが足りなくなりました。そこで、表彰式は次の日、各園で行うことになりました。



表彰式は年少さん、年中さんも参加しました。“次は僕たち、私たち！”と目をキラキラさせていたなつめ組さん。来年が楽しみです。

ドッジボール大会当日には、加納幼稚園年長児のクラスにも入らせてもらい、交流もできました。2園しかない岐阜市立幼稚園ですが、こうして交流できることは嬉しいことだと思います。



<サッカーで遊んでいた時に・・・>

たいよう組をはじめ、なつめ組にもサッカーが大流行。たいよう組は、参観する方が皆さん感心されるほど、上手になっています。技術もそうですが、チームで力を合わせようとする姿が見られます。毎日のようにサッカーを楽しんでいます。

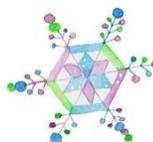
こんなことがありました。たいよう組の子たちが数名、職員室に来ました。何かと思ったら、サッカーをやっていて、Eくんが蹴ったボールがプランターに当たって割ってしまったそうです。それをきちんと報告に来てくれました。プランターも劣化してきていましたし、力強く蹴ることができるようになってきたので、そういうこともあります。子どもたちには、黙っていないで報告に来てくれたことが嬉しかったということをお伝えしました。しかも、ボールを蹴ったのはEくんですが、一緒に遊んでいた子どもたちが「みんなで言いに行こう！」と言って、みんなで報告することになったそうです。蹴った子だけの責任にしないということ。よくある連帯責任というのではなく、“みんな一緒に遊んでいたからみんなで言いに行こう”と自分たちで考えたことが素敵だと思いました。割れてしまったらどうしよう・・・と思っているEくんの思いに寄り添ってくれたのだと思います。プランターも古くなっていましたので割れやすかったことも伝え、新しいものに変えることを伝えました。



《2月の保育について》

【3歳児】

- 先生や友達と一緒にいろいろなごっこ遊びを楽しむ。
- 自分の身の回りのことに気づき、やってみようとする。



【4歳児】

- 自分の思いを出したり、相手の思いを聞いたりしてそれに応じようとする。
- 考えたり工夫したりしたことを、いろいろな方法で表現することを楽しむ。



【5歳児】

- クラスの共通の目的に向かって話し合い、自分なりの力を発揮し、みんなでやり遂げた満足感を味わう。
- なりたいもの、つくりたいものを試行錯誤しながら自分なりにこだわって創り上げる。